

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201048

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 後期計画においても引き続き水洗化改修工事を登載する。 ・平成25年度 幌内小教頭1 沢木小4・豊丘小4一般教員 9戸 18,000千円 ・平成26年度 幌内小6・共栄小3一般教員 9戸 18,000千円
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	へき地小学校教員住宅水洗化改修事業	見直し年度		
事業期間	平成23年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	整備が必要な戸数	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
事業目標	22戸	関係例規・法令名		
住民参加	2	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	へき地小学校教員住宅の水洗化改修 (13棟22戸)				調査	沢木・豊丘・共栄小学校長及び 教頭住宅 4戸
	事業費(千円)	8,900	0	0	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	8,900					8,900
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,673	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	8,673					8,673
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
					調査の実施	沢木校長・教頭住宅、豊丘校長 住宅、共栄校長住宅(計4戸)
					※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	97%
	事業進捗状況				☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	へき地小学校教員住宅水洗化改修事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	教職員住宅施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	水洗化工事戸数								
【抱える課題やニーズは】	住環境及び環境衛生の改善として、下水道整備区域外の教職員住宅の水洗化整備が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	トイレを水洗化することにより、衛生面等の住環境の改善を図る。	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4戸</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4戸</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	4戸	実績値	4戸	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	4戸										
実績値	4戸										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	今後も継続して住宅を利用できる改修を実施し、住環境の改善を図る。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	状況把握	工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。									
	工事施工	住環境を改善するため、合併処理浄化槽を設置し、便器便器の取替えに伴う便所内改修を行っています。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	下水道整備区域外であるへき地の教職員住宅は、一部を除き汲み取り式であるため、水洗化による衛生面の環境整備を段階的に行う必要があると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	住環境を整備することにより、環境衛生の改善が図られるため、事業を実施するにあたって有効であると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	前年度調査に基づき、3年間での施工箇所の選定を行い、計画的に工事施工を予定しているため、事業費の抑制につながっていると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

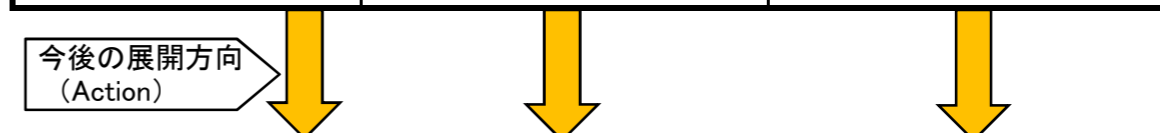
公平	判断の理由	水洗化未整備である教職員住宅についても計画的な改修を行うため、公平性が保たれていると判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水洗化工事を施工することにより、衛生面の環境整備の充実が推進されており、計画どおり事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
水洗化工事を必要とする未改修教職員住宅があるため、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止